

国際法学会 2024 年度研究大会公募報告（追加募集）

への応募を検討しておられる会員のみなさまへ

2024 年 2 月 29 日

研究企画委員会

2024 年度研究大会は以下のように構成される予定です。報告タイトルはいずれも仮題であって変更の余地はありますが、根幹部分が変わることはありません。

応募される際は、これら報告テーマとの重複を避けてくださいますよう、お願い申し上げます。重複の可能性につき懸念がある場合、事前に研究企画委員長までご照会ください。

研究企画委員長 濱本正太郎 hamamoto\*law.kyoto-u.ac.jp

（\*を@に置き換えてください。）

第 1 日午後の部	国際法における「視点」	
個別報告 1	TWAIL が国際法にもたらしてきた・これからもたらず影響	西海真樹
個別報告 2	ジェンダー論が国際法理論にもたらしてきた・これからもたらず影響	近江美保
個別報告 3	「英語中心主義」が国際法にもたらしてきた・これからもたらず影響	中井愛子
個別報告 4	対抗言説としての「中国」	王志安
第 2 日午前の部	Oda lectures	
個別報告 5	Is there any future for collective security (in light of so many distressing developments across the globe in recent times)?	Erika de Wet
個別報告 6	Security 概念の多様化と collective security	片柳真理
個別報告 7	安保理の許可の分析枠組み	佐藤 量介
第 2 日午後の部		
第 1 分科会	時間をめぐる視点	
分科会個別報告 1	コロナリズムの過去と現在	戸田真紀子

分科会個別報告 2	国際法における「記憶」の保護——先住民文化財・遺骨	佐藤義明
分科会個別報告 3	時際法をめぐる時間的視点	許淑娟
分科会個別報告 4	将来世代はどのようにして代表されるのか	阿部紀恵
第 2 分科会	人権という視点——人間解放か価値の押しつけか	
分科会個別報告 5	人権が国際私法に与える影響	中村知里
分科会個別報告 6	国家間関係の安定を覆す人権？	坂巻静佳
分科会個別報告 7	平和を上回る人権？	下谷内奈緒
分科会個別報告 8	新植民地主義としてのビジネスと人権？	猪口絢子
第 3 分科会	人の移動をめぐる新たな動き——難民を中心に	
分科会個別報告 9	安全保障化する難民	杉木明子
分科会個別報告 10	ノン・ルフールマン原則の例外規定と日本の入管法改正：「締約国にとって危険な者」とは誰か	橋本直子
分科会個別報告 11	難民・移民に関する EU の対応	大道寺隆也
分科会個別報告 12	人の移動と人の身分の承認との関係	北坂尚洋
第 3 日午前の部	公募個別報告（最大 3 つの分科会。現時点で割当未定）	
公募個別報告 1	公序条項における人権条約の間接適用をめぐる諸問題	寺井里沙
公募個別報告 2	国連憲章下における非国家主体に対する自衛権について	本吉祐樹
公募個別報告 3	国際裁判における付随的管轄権の議論展開	山下毅
公募個別報告 4	（追加募集対象）	
公募個別報告 5	（追加募集対象）	
公募個別報告 6	（追加募集対象）	
公募個別報告 7	（追加募集対象）	
公募個別報告 8	（追加募集対象）	
公募個別報告 9	（追加募集対象）	

第3 日午後の部	公募パネル報告（最大3つ）	
公募パネル報告1	SDGs と国際通商法：現状と課題	中川淳司 米谷三以 梅島修 濱田太郎 福永有夏
公募パネル報告2	(追加募集対象)	
公募パネル報告3	(追加募集対象)	